

事務事業名	青少年育成問題協議会運営事業	事務事業No.	20303000661	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 法律に基づき、条例は制定してあったが、委員の委嘱及び委員会が開催していなかった。中学生による放火事件を機に、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の樹立、適切な実施を期する為に、必要な関係行政機関相互の連絡調整及び情報交換を図るために設立した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特に現在のところ意見等は寄せられていない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策について調査及び審議を行い、市や関係行政機関に対し、意見を述べる事により、青少年の健全育成に寄与する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・青少年の健全育成に関しては、行政・市民・警察が今日の青少年の抱える問題に取り組むことは有効な手段である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・青少年の問題に対する事業であり、限定・拡充の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・青少年の健全育成及び少年犯罪の未然防止には各種関係機関団体等の連携を密にする必要があり、情報交換の場は当市には本協議会しかないと考え。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業や統廃合・連携の可能性がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・青少年問題協議会は青少年の犯罪防止及び健全育成事業の活動機関ではなく、市の諮問を受けて、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策について調査及び審議する機関である。事業費は委員の報酬のみであり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・青少年の健全育成は全市民に係わる問題で、受益機会、費用負担の余地はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)										
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・青少年育成関係機関・団体との連携について方向性を検討したが、青少年の個人情報の取り扱いが難しく思われる。近年協議会開催は実施されていない。委員からの要請及び問題がない限り協議会開催とはならないため、開催準備となる事務として、任期の終了となる際に委嘱書の準備を行う。令和2年度任期満了となる。(令和2年7月31日)										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)										
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>		成果	向上維持	削減	維持	増加	低下	○	×	×
成果	向上維持	削減	維持		増加							
	低下	○	×	×								
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A : 継続(現状維持) C : 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B : 継続(改革改善を行う) D : 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>